

試験法 125	スレーキング性材料の三軸試験の 供試体作製方法(供試体作製)
---------	-----------------------------------

調査件名 SYSTEM21 最高級プロフェッショナル土質調査解析ソフト
 長年の実績で信頼と安定したソフトを実現

試験年月日 2019年10月24日

試料番号 S1-1(3.00m~3.70m) 試験者 田中 誠二

土質名称		泥岩	土粒子の密度 ρ_s	g/cm ³	2.626
自然含水比 w_n	%	18.5	液性限界 w_L	%	56.1
塑性限界 w_p	%	30.5	塑性指数 I_p		25.6
スレーキング率	%	92.3	破砕率	%	45.4
締固め試験方法		B-c	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm ³	1.552
最適含水比 w_{opt}	%	24.5	品質管理基準		$D_c \geq 92\%$ かつ $V_a \leq 15\%$
決定乾燥密度 ρ_t	g/cm ³	1.502	決定含水比 w_5	%	26.1
供試体 No.		1	2	3	4
初期	直径 D_i	cm	20.01	19.99	20.00
			20.00	20.00	20.00
			20.00	20.01	20.00
中期	高さ	cm	40.00	39.98	40.00
			40.02	39.99	40.01
			39.99	40.02	39.99
状態	平均高さ H_i	cm	40.00	40.00	40.00
	体積 V_i	cm ³	12566	12566	12566
	含水比 w_i	%	26.3	25.9	26.0
	質量 m_i	g	23781	23783	23782
	湿潤密度 ρ_{ti}	g/cm ³	1.892	1.893	1.893
	乾燥密度 ρ_{di}	g/cm ³	1.498	1.503	1.502
	間隙比 e_i		0.753	0.747	0.748
	飽和度 S_{ri}	%	91.8	91.1	91.2
	空気間隙率 v_{ai}	%	3.6	3.8	3.8
	相対密度 $D_{ri}^{1)}$	%			

特記事項

1)必要に応じて記載する。

ぜい弱岩材料の耐久(スレーキング)性材料の三軸試験用供試体作成方法

岩のスレーキング率とは5サイクル乾湿繰返しを行った後、9.5mmフル通過乾燥土の全乾燥土に対する比(質量比)をいう。

乾湿繰返し試験とはスレーキングした状態を再現するために行う乾燥及び水浸を繰返す試験

スレーキング率が概ね70%以上の材料を対象とする

スレーキング性材料は泥岩等の脆弱岩のうち盛土に用いるスレーキングしやすい材料

有効低板は、孔の直径が2mm以下のもの

ふるいは、JIS Z 8801(標準ふるい)に規定する

はかりは、感量1gのものとする

恒温乾燥炉は、温度を110±5℃に保持できるものとする

供試体の形状は直円柱とし、直径は10cmまたは20cm、高さは、直径の2.0~2.5倍を標準とする